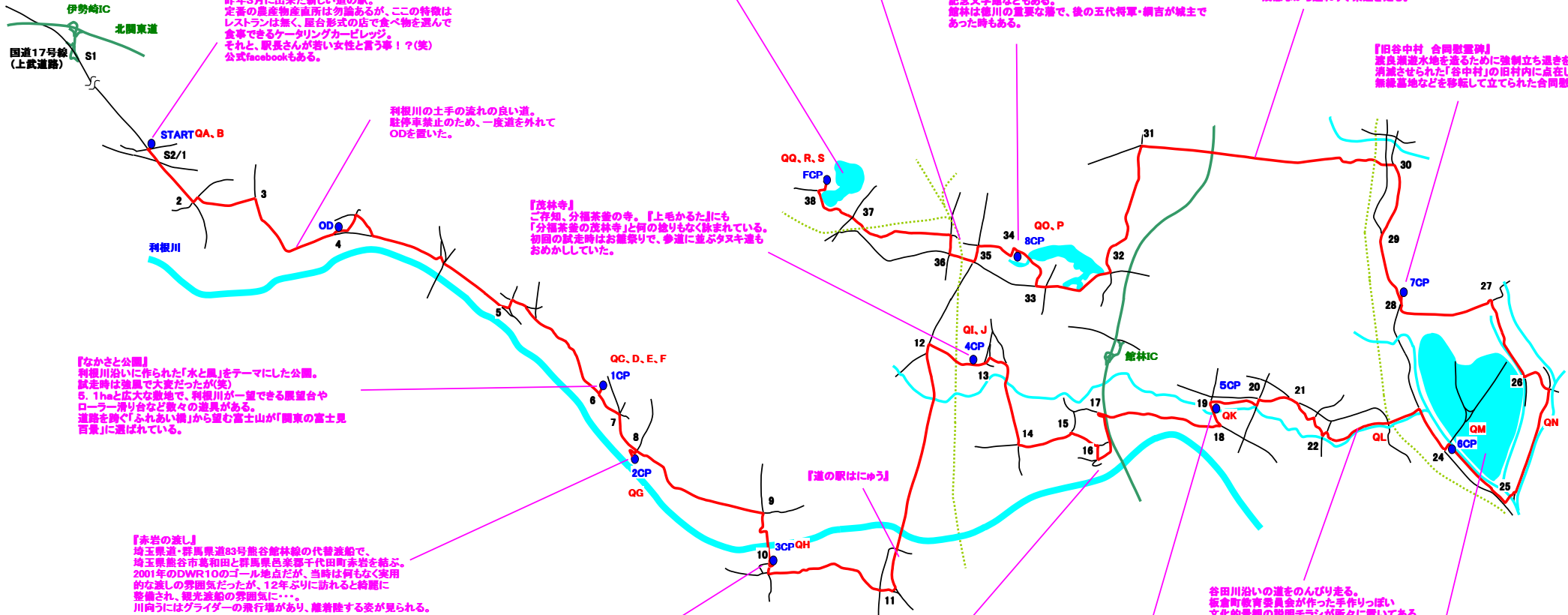


第51回D-Wind Rally Course Layout

小さな黒数字はコマ図番号です。
 ※クイズの位置はおよその位置です。



【道の駅おた】
 昨年3月に出来た新しい道の駅。定番の農産物産直所は勿論あるが、この特徴はレストランは無く、屋台形式の店で食べ物を選んで食事できるケータリングカービレッジ。それと、駅長さんが若い女性と言う事！？(笑) 公式facebookもある。

利根川の土手の流れの良い道。駐停車禁止のため、一度道を外れてODを置いた。

【茂林寺】
 二存知、分福茶堂の寺。【上毛かるた】にも「分福茶堂の茂林寺」と何の後ろもなく載っている。初回の試走時はお籠車りて、夢道に並ぶタヌキ道もおめかししていた。

館林駅・西口には、日清製粉ミュージアムや正田(醤油)記念館がある。残念ながら前者は駐車場がなく、後者は土日が休館日のため、立ち寄る事は出来なかった。

【つつじが丘公園】
 その名の通り、約1万株のつつじが植えられている公園。公園内には館林出身の宇宮飛行士・岡井千秋さんの名を冠した記念子供科学館や、やはり館林出身の田山花袋記念文学館などもある。館林は徳川の重要な藩で、後の五代将軍・綱吉が城主であった時もある。

渡良瀬川沿いの土手道を走るプランだったが、残念ながら通れず、県道を走る。

【旧谷中村 合同慰霊碑】
 渡良瀬湖水地を流るために陸創立も運きさせられ、消滅させられた「谷中村」の旧村内に点在していた無縁墓地などを移転して立てられた合同慰霊碑。

【なかさと公園】
 利根川沿いに作られた「水と風」をテーマにした公園。試走時は強風で大変だったが(笑) 5.1haと広大な敷地で、利根川が一瞥できる展望台やローラー滑り台など数々の遊具がある。道端を誇く「ふれあい橋」から望む富士山が「関東の富士見百景」に選ばれている。

【赤岩の渡し】
 埼玉県道・群馬県道83号熊谷館林線の代替渡船で、埼玉県熊谷市葛和田と群馬県邑楽郡千代田町赤岩を結ぶ。2001年のDWR10のゴール地点だが、当時は何もなく実用的な渡しの雰囲気だったが、12年ぶりに訪れると綺麗に整備され、観光渡船の雰囲気……。川向うにはグライダーの飛行場があり、離着陸する姿が見られる。

【利根大堰】
 東京都など首都圏の水需要に応えるため、昭和43年4月から取水開始した堰で、利根川中流域の農業用水や首都圏の飲料水、工業用水を支えている重要な堰。また、利根川はサケ自然産上の南限河川と言われており、サケの遡上を助ける為に、1995年から1997年にかけて大改築を実施した魚道を側面から見る事が出来る。

【千津井(せんずい)の渡し】跡
 埼玉県羽生市今泉と群馬県館林市を結ぶ埼玉県・群馬県304号今泉館林線の代替渡船として「千津井の渡し」が運航されていたが、1988年に廃止された。利根大堰により下流の水量が少なくなったことも廃止の一因の様である。

【群馬の水郷公園】
 谷田川を利用したフィッシングパーク。春と秋には、板倉の水文化である「揚舟」に乗船できる「群馬の水郷・揚舟・谷田川めぐり」の乗船場所になる。「揚舟」とは、湯水が十分だった頃は水害が多く、水害時に移動できるように家の軒先にぶら下げていた舟の事である。

谷田川沿いの道をのんびり走る。板倉町教育委員会が作った手作りっぽい文化的景観の説明テラスが所々に置いてある。

【渡良瀬貯水池(谷中湖)】
 足尾銅毒事件による鉱毒を沈澱させ無害化することを目的に渡良瀬川下流に作られた渡良瀬湖の第一調整池の中に造られた池である。机上プランでは谷中湖の中を走る道をつもりだったが、残念ながら車では走れなかった。予定を変更して第一貯水池の中の通行可能な道をぐるりと走る事にした。